



はじめに

青森県では、昨年8月2日5時からの24時間雨量が186mmと、平年の8月1ヶ月分を上回る記録的な大雨となりました。この大雨により、津軽半島東部の外ヶ浜町では、複数の



写真1：土砂と流木の被害

令和4年8月豪雨災害への対応

東北森林管理局
青森森林管理署

溪流で溪岸斜面の崩壊や土砂流出・流木被害が発生しました。流出土砂と流木の一部は陸奥湾まで到達し、湾沿いの集落及び国道280号に堆積し、被害を与えました(写真1)。

自治体等と連携した被害状況の把握

青森森林管理署では、発生後2回にわたり青森県庁と合同でヘリコプターによる上空から広範囲の調査を行いました(写真2)。上空から山地災害が確認された箇所については、地上で詳細な調査を行うことで、被害状況を効率的に把握することができました。

10月には、山地災害の形態と降雨量の関係を明らかにするため、国の研究機関である森林総合研究所の専門家が外ヶ浜町の山地災害の現地において、地形や地質、流木の発生機構等に関して詳細な調査を行いました(写真3)。

管内概要

所在地

青森県青森市篠田三丁目 22-16

区域面積

147,812 ha

うち森林面積 111,591 ha

うち国有林面積 68,194 ha

関係自治体

青森市、平内町、そとがはままち外ヶ浜町、今別町、蓬田村



青森森林管理署の管理区域は、青森県の北西部に位置し、奥羽山脈の北端部である八甲田大岳をはじめ高峰が連なる地域と津軽半島東部の標高700m前後の山々が連なる起伏の大きな地域に大別されます。

管内の国有林は、市町村の水道用水や農業等産業用水の水源域が多く、その多くが水源涵養を目的とした保安林に指定されています。また、ヒバやブナ等の天然林が多く、その豊かな森林資源を利用した木材加工業が発達しており、地域の重要な産業となっています。さらに、とわだほちまんたいこくりつこうえん十和田八幡平国立公園、津軽国定公園等優れた景勝地や自然環境を有する森林も多くあります。





写真3：専門家による外ヶ浜町の現地調査



写真2：青森県と合同のヘリ調査



写真4：治山ダム上流部に堆積した流木



写真5：独立基礎型流木捕捉工



写真7：土砂の土質試験



写真6：設置したワイヤーネット工

🚨 応急対策及び復旧対策

外ヶ浜町藤島地区では、溪流に設置していた治山ダム上流に流木が堆積しており（写真4）、再び大雨が降った場合に流下する危険性がありました。そこで、応急対策として流木を撤去するとともに、バイオマス燃料として利用が可能なものを搬出し有効活用することで、災害廃棄物処理費用の削減を図りました。

また、復旧対策として、森林総合研究所の専門家から提案された独立基礎型流木捕捉工を設置（令和5年4月）しました（写真5）。独立基礎型流木捕捉工とは、流木災害の発生を防止・軽減するため、流木の捕捉に特化した

施設です。流木被害を防止することで溪畔林を保護し、水土保全等の緩衝性として機能させるとともに、生物多様に富んだ山地生態系を保全する機能も期待できます。

同町の元宇田地区では、流木と土砂の流出があったことから、応急対策として堆積した土砂を取り除くことに加えてワイヤーネット工を設置し、土砂や流木の再流出に備えました（写真6）。なお、取り除いた土砂については、

近隣の林道の災害復旧事業で有効活用するため、土質試験等に取り組んでいます（写真7）。

ります。